

生成AIパスポート 対策テキスト

難問対策編

2つで迷う問題・言い回しが変わる問題。知識ではなく、
解き方の本です。

難しさの正体は2つ／公式の例題3問から読む「本番の作り」

4つの道具（言い過ぎ・逆にした選択肢・適切／不適切・差分）

言い回し耐性＝1つの論点を3通りで／実演3問

難

AI資格ラボ

YouTubeチャンネル登録者への配布テキストです。

動画「【生成AIパスポート】難問対策編」と対応しています。

はじめに

この本は、講義とは別の本です

第1章から第5章までの講義で、**知識はひとつとおりました**。この本は、そのあとの話です。**知識ではなく、解き方**を渡します。

先に、はっきりさせておきます

△ この試験に、公開された過去問はありません。「過去問」を名乗るものは、すべて推測です。別の試験の問題が混ざっていた、という報告まであります。

★ こちらの持っているのは2つだけです。公式が出している例題3問と、自作の練習問題537問の実測。それ以上のことは書きません。

なぜ、この本が要るのか

受験した方が、こう書かれていました。

⇒ 「多くの設問で、選択肢は2つまで絞れていました」

「でも、そこから決めきれなかった」

★ 分かっていないわけではありません。2つまでは、ちゃんと絞れている。……最後の一步が、届かない。この本は、その一步の話です。

この本の構成

- 本文……ふつうに読める文章です。まずここを読んでください。
- 試験ポイント（青い枠）……そのまま使える形にまとめた所です。
- △マークの枠（赤い枠）……**やってはいけないこと・言い切れないこと**です。
- やってみる（緑の枠）……**サイトに実在する難問**を3問。一字一句そのまま載せています。
- 巻末……4つの道具のチェックリストと、本番前の読み方の手順を付けました。

動画と合わせて使う

- 動画は約18分。この本と同じ順番・同じ図で進みます。
- ★道具は使って初めて手に入ります。実演の3問は、必ず自分で解いてから答えを見てください。
- 練習問題（無料・登録不要）は ai-shikaku-lab.pages.dev。章のページで「応用・難問だけ」を選ぶと、この本の型の問題だけが並びます（全5章で69問）。

目次

この本の目次

はじめに	この本は、講義とは別の本です	1
1	難しさの正体は2つ	3
2	手がかりは、公式の例題3問だけ	4
3	本番の作り 3つの型	5
	やってみる① 定義提示の型	6
4	道具1 言い過ぎを探す	7
5	道具2 逆にした選択肢を疑う	8
	やってみる② 逆にした選択肢の型	9
6	道具3 「適切／不適切」を先に押さえる	10
7	道具4 2択で止まったら、差分だけを見る	11
	やってみる③ 2択で止まる型	12
8	言い回し耐性 1つの論点を3通りで	13
まとめ	今日の4つの道具	14
巻末	本番の読み方（手順）	15
巻末	4つの道具チェックリスト	16

1 難しさの正体は2つ

難しさの正体は**2つ**あります。⊖ **「2択で迷う」だけではありません。**

1つ目 2つまで絞れるのに、決めきれない

さきほどの言葉です。……これは**分かります**。誰でもそうなります。

2つ目 言い回しが変わると、解けなくなる

★ **問題は、こちらです。**受験した方の言葉を、もう1つ。

△ 「問題集を周回するうちに、問題文と答えの組み合わせを、**そのまま覚えてしまっていた**」
「表現が変わった瞬間、その記憶は**使い物にならなくなります**」

☆☆ **ここが、いちばん怖いところ**です。**周回すればするほど、速く解けるようになる。**……でもそれは、**分かったから**ではなく**覚えたから**かもしれません。

△ **自分では区別がつきません。本番まで、気づけない。**だからこの本は、引っかけの見抜き方だけでは終わ
りません。「覚えているだけ」を自分で見つける方法まで扱います（8章）。

① 2つまで絞れる。でも決めきれない

選択肢は2つに絞れている
最後の一步が届かない
＝ 分かっていないわけではない

② 言い回しが変わると解けない

問題文と答えの組を覚えていた
表現が変わると使えなくなる
＝ 周回するほど気づけない

②は「分かった」と「覚えた」の区別がつかない

本番まで気づけないのは、こちら

図1 ②は「分かった」と「覚えた」の区別がつかない

試験ポイント | 2つを分けて考える

- ①**2択で決めきれない**……道具で減らせます（4～7章）。
- ②**言い回しが変わると解けない**……**道具では直りません**。練習の形を変えるしかありません（8章）。
- ☆ **この2つを混ぜないこと**。直し方がまったく違います。

2 手がかりは、公式の例題3問だけ

本番の問題は、どういう作りなのか。……手がかりは、ひとつしかありません。**公式が出している、例題3問**です。

△ **過去問は公開されていません**。出回っているものは**全部が推測**です。別の試験の問題が混ざっていた、という報告まであります。

先にお断り。3問は、統計になりません

「何割が否定形」といった話は、**この3問からは言えません**。★言えるのは**作りの型**だけです。

そして**型なら、3問でも十分に見えます**。実際、**3つとも違う型**でした。

試験ポイント | 根拠の置き方

- この本が根拠にしているのは**3つだけ**——受験した方の証言／公式の例題3問／自作537問の実測。
- ☹ **それ以外を根拠にしません**。「たぶんこう出る」は書きません。
- ⚠ 出題範囲の正本は公式シラバスです (guga.or.jp)。この本は受験対策で、試験の実施団体とは関係ありません。

3 本番の作り | 3つの型

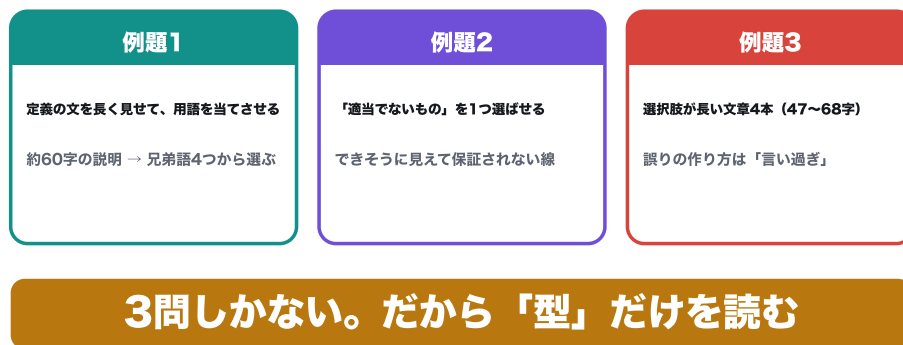


図2 3問しかない。だから「型」だけを読む

型① 定義の文を長く見せて、用語を当てさせる

60字ほどの説明文が先にあって、「これは何か」と聞かれます。そして**選択肢は兄弟語が4つ**——教師あり学習／教師なし学習／強化学習／過学習。**全部、近い言葉**です。

△ こちらの練習問題は、設問の長さが**中央28字**でした。**本番は、その倍あります**。長い文を読まされる、と思っておいてください。

型② 「適当でないもの」を1つ選ばせる

答えになっていたのは「**正確な情報の抽出**」。**★できそうに見えて、保証はされていない**——この線です。

型③ 選択肢が、長い文章4本

1本あたり**47字から68字**。4本とも文章なので、**読み比べ**になります。

⚠️ そして**誤りの作り方**。……**★「言い過ぎ」**でした。「**厳格に法律で規制されている**」——そこまでは言っていない、という作り方です。

⇒ **この3つ目が、いちばん大事な手がかり**です。次の章から、道具の話に入ります。

— やってみる① 定義提示の型

サイトに実在する問題です。答えを見る前に、自分で解いてください。

やってみる①

第1問 学習に用いる着目点（特徴量）を人間が指定するのではなく、大量のデータからAI自身が見つけ出して判断に用いる段階を指す。この説明にあてはまるものはどれか。

ア レベル1 イ レベル2 ウ レベル3 エ レベル4

答

エ レベル4。

★ **見るところはひとつだけ**——「着目点を、誰が決めたか」。人間が決めていれば**レベル3**、AIが見つけていれば**レベル4**。

⚠ **学習しているかどうかでは分かれません**。レベル3も学習しています。

試験ポイント | 長い定義文の読み方

- ★ **長い定義文は、ほとんどが飾り**です。
- 分かれ目になる一文だけを探す**。それがこの型の解き方です。
- ⚠ 兄弟語が並ぶので、**「どれも当てはまりそう」に見えます**。分かれ目を見つけるまで選ばないこと。

4 道具1 | 言い過ぎを探す

公式の例題3でも、誤りの作り方は「言い過ぎ」でした。……これは目印で見つかります。

この6つが入っていたら、まず目を留める



この分野に、言い切れることがほとんどない
出力の正しさは保証されない／シンギュラリティは証明されていない
RAGを入れても誤りは無くならない

ただし「疑う」まで。切るのは中身を見てから

図3 この6つが入っていたら、まず目を留める

なぜ効くのか

★ この分野に、言い切れることがほとんどないからです。

- 生成AIの出力は、正しさが保証されない
- シンギュラリティは、証明されていない
- RAGを入れても、誤りは無くならない

ただし、万能ではありません

△ 言い切りが正しい場合もあります。「著作権は、創作した時点で発生する」——これは言い切って正しい。

試験ポイント | 「疑う」までで止める

- 目印は必ず／すべて／完全に／一切／保証される／常にの6つ。
- ★ 道具は「疑う」まで。「即座に切る」ではありません。
- まず目を留める。それだけで、だいぶ違います。

5 道具2 | 逆にした選択肢を疑う

この試験には、**2つセット**で出てくる**言葉**がとて多い。

2つ並んだら、必ず「入れ替えた選択肢」が用意される

エンコーダ	入力をまとめる	デコーダ	出力を組み立てる
Temperature	ばらつきの強さ	Top-p	候補の幅
営業秘密	秘密として管理	限定提供データ	相手を限って提供
肖像権	誰にでもある	パブリシティ権	お金の話
プレトレーニング	先	ファインチューニング	あと

短い一言で「どっちがどっち」まで覚える

図4 短い一言で「どっちがどっち」まで覚える

★ **2つ並んだら、必ず「入れ替えた選択肢」が用意されます。**これは**作る側の都合**です——もっともらしい誤答を作るのに、いちばん簡単な方法だから。

だから、対策も決まっています

2つセットの言葉は、必ず「どっちがどっち」で覚える。

△ **「両方の意味を知っている」では足りません。**入れ替えられた瞬間に、見分けられるか。……そこまでが必要です。

試験ポイント | 短い一言に直す

- Temperatureは**ばらつき**、Top-pは**候補の幅**。
- プレトレーニングが**先**、ファインチューニングが**あと**。
- ★ これくらい短くしておくと、**本番で戻ってこられます**。

— やってみる② 逆にした選択肢の型

やってみる②

第2問 TemperatureとTop-pは、それぞれ何を決めているか。

ア Temperatureは出力のばらつきの強さを決め、Top-pは次の語の候補をどこまで広げるかを定める

イ Temperatureは次の語の候補をどこまで広げるかを決め、Top-pは出力のばらつきの強さを定める

答

ア。アとイは、**入れ替えただけ**です。

知らなければ五分五分。知っていれば一瞬。

⚠ ここで「どちらだったかな」と迷ったなら、それが弱点です。**両方の意味は言えるのに、対応が結びついていない**ということ。

⇒ **その場で、短い一言に直してください。**「Temperatureは、ばらつき」——それだけで次から迷いません。

6 道具3 | 「適切／不適切」を先に押さえる

これも、受験した方が書かれていました。

→ 『『適切／不適切』『正しい／誤り』が、**連続すると頭がこんがらがる**』

★ **これは、知識の問題ではありません。読み方の事故**です。

本番は60問。問題ごとに、聞き方が入れ替わります。「最も適切なものはどれか」→「**適当でないものはどれか**」→「**誤っているものはどれか**」。……**3問連続で切り替わると、人は必ずつられます。**

～について述べた次の記述のうち、
(長い設問がここに続く)

適当でないものはどれか。

↑ **ここを
先に見る**

**探すのは「正しいほう」か「間違いのほう」か
分かっているのに逆を選ぶ、がいちばん惜しい**

図5 分かっているのに逆を選ぶ、がいちばん惜しい

試験ポイント | 対策はひとつだけ

- ★ **問題文を読む前に、最後の一行を先に見る。**
- 「適切」なのか、「適当でない」なのか。**そこを先に確定させる。**
- ⚠ **当たり前には聞こえますが、本番でいちばん落とすのがここ**です。
- ★ こちらの練習問題でも、**否定形は全体のおよそ2割**入れています。慣れておいてください。

7 道具4 | 2択で止まったら、差分だけを見る

いちばん最初の話に戻ります。「2つまでは絞れる。でも決めきれない」。

やってはいけないこと

🚫 **2つの選択肢を、最初から読み直すこと**です。同じ結論に、もう一度たどり着くだけ。……時間だけが減ります。

やること

★ やることは、逆。2つの、**違うところだけを取り出す**。

残った2つは、ほとんど同じ文のはずです。違うのは**1か所か、2か所**。★ その1か所だけを見て、どちらが正しいかを決める。問題全体ではなく、その一語で決めます。

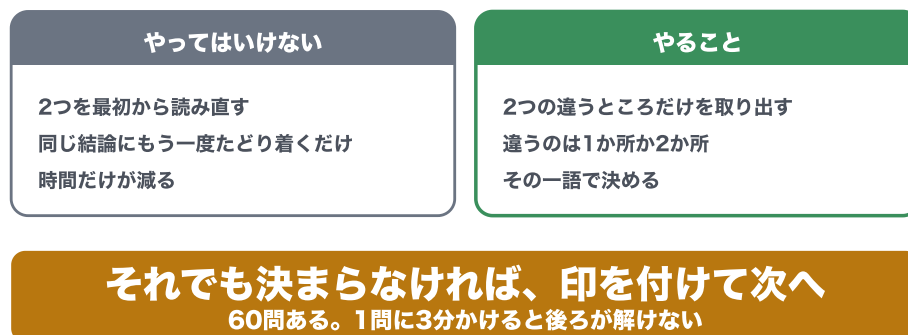


図6 それでも決まらなければ、印を付けて次へ

試験ポイント | 「決めない」も道具

- ⚠️ それでも決まらないときは、**捨ててください**。印を付けて、次へ。
- 60問あります。1問に3分かけると、**後ろが解けません**。
- ★ 「決めきれない」の正解は、「決めない」こともある。——これも道具です。

① やってみる③ 2択で止まる型

まず★最後の一行。「適当でない」ですね。探すのは、間違いのほうです。

やってみる③

第3問 AIエージェントの業務での使い方について述べた次の記述のうち、適当でないものはどれか。

ア 手順を自ら組み立てて進められるため、外部へ影響する操作についても人の承認を挟む必要はない

イ 目標を与えると、手順を計画し、道具を使い分けながら作業を進めることができる

答

ア。目印は「必要はない」＝言い過ぎ。

★差分を見ると、こうなります。イは「できる」と言っているだけ。アは「だから、しなくてよい」まで踏み込んでいる。

⚠ できることと、していいことは、別です。この線引きは、第4章でも第5章でも、ずっと同じでした。

8 言い回し耐性 | 1つの論点を3通りで

最後に、2つ目の難しさに戻ります。**言い回しが変わると、解けなくなる。**

△ ☆ これは、道具では直りません。**練習の形を変えるしかありません。**方法はひとつです——**同じ論点を、違う聞き方で、3回問う。**

同じ論点=プレトレーニングとファインチューニング

1回目・定義で問う

大量のデータであらかじめ
学習させることを何という？

2回目・順序で問う

先に行うのは、
どちらか？

3回目・否定形で問う

これらの説明として、
適当でないものはどれか？

3つとも正解して、はじめて「分かった」

図7 3つとも正解して、はじめて「分かった」

☆ 3つとも正解して、はじめて「分かった」。……**1つでも落ちたら、覚えていただけ**です。

ここが、丸暗記との分かれ目

同じ問題文を10回解いても、この差は見つかりません。☆ **聞き方を変えて、初めて見つかります。**

試験ポイント | サイトの「論点」を使う

- ☆ こちらのサイトでは、この束ねを「**論点**」と呼んで**40件**用意しました。
- 同じ論点の問題は、**必ず違う聞き方**にしています（定義／順序／否定形など）。
- ⚠ 同じ論点の中に、**同じ選択肢の組み合わせは置いていません**。記憶では解けないようにしています。

まとめ

今日の4つの道具

1

言い過ぎを探す

必ず・すべて・完全に・一切・保証される・常に

2

逆にした選択肢を疑う

2つセットの言葉は入れ替えて出る

3

「適切／不適切」を先に押さえる

問題文より先に、最後の一行を見る

4

2択で止まったら、差分だけを見る

読み直さない。違う一語で決める

+ 同じ論点を、違う聞き方で3回問う

これだけは道具ではなく習慣

図8 道具は4つ。+ 習慣がひとつ

正直に言っておきます

△ これで必ず受かる、とは言えません。言えるのは、**もったいない落とし方が減る**、というところまでです。

★ でも、2つまで絞れているなら——**あと一歩**です。

このあとの進め方

1. ⚠ 先に基本を一周してから。**土台がないうちに難問だけ解いても、削られるだけ**です。
2. 章のページで「応用・難問だけ」を選ぶ。全5章で**69問**あります。
3. 間違えた問題は、解説から動画の該当場面へ直接飛べます。
4. ★ 最後は**間違えた問題に戻るだけ**。それがいちばん効きます。

巻末

本番の読み方（手順）

試験当日、1問ごとにこの順で読んでください。**順番に意味があります。**

	やること	なぜ
1	最後の一行を先に見る	「適切」か「適当でない」かを確定させる
2	選択肢に言い過ぎが無いか目を留める	必ず・すべて・完全に・一切・保証される・常に
3	2つセットの言葉が出たら、入れ替えを疑う	もっともらしい誤答の作り方がこれ
4	2つに絞れたら、違う所だけを取り出す	読み直さない。その一語で決める
5	それでも決まらなければ、印を付けて次へ	60問ある。1問に3分かけない

⇒ **1と5がいちばん効きます。**1は落とさずに済む問題を守り、5は解けるはずの問題を守ります。

巻末 4つの道具チェックリスト

自分の言葉で言えたら✓を入れてください。⚠️「知っている」ではなく「**本番で使える**」かどうかで判断してください。

- ☐ 言い過ぎを探す（目印の6語を言える）
- ☐ 逆にした選択肢を疑う（2つセットの言葉を短い一言で言える）
- ☐ 「適切／不適切」を先に押さえる（最後の一行から読む）
- ☐ 差分だけを見る（読み直さない。決まらなければ飛ばす）

★道具ではなく習慣です。ここができると、2つ目の難しさが消えます。

- ☐ 同じ論点を、違う聞き方で3回問う（定義・順序・否定形）
- ☐ 3つとも正解して、はじめて「分かった」とする
- ☐ 1つでも落ちたら「覚えていただけ」と考え直す

この本で扱わなかったこと

- ️🚫 **出題の予想はしていません。** 根拠が無いからです。
- ️🚫 **「過去問」は載せていません。** **公開されていないから**です。
- ️★扱ったのは**解き方だけ**。知識は第1章から第5章の講義と教科書にあります。